第5号様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度 第2回清須市生涯学習推進計画策定検討会
開催日時	令和6年10月4日（金） 午後2時～午後4時
開催場所	清須市西枇杷島勤労福祉会館（にしびさわやかプラザ） 3階 研修室
議題	議題 (1) 清須市生涯学習推進計画（第2期）市民アンケート等の結果について (2) 清須市生涯学習推進計画（案）の骨子について (3) その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 資料1 「清須市の生涯学習に関するアンケート調査 調査結果の概要（中間報告）」 ・ 資料2 「清須市生涯学習推進計画（第2期）の構成について」 ・ 資料3 「清須市生涯学習推進計画（第2期）素案」 ・ 別紙1 「清須市生涯学習主審計画策定検討会委員名簿」 ・ 別紙2 「清須市生涯学習推進計画策定検討会議設置要綱」 ・ 追加資料「清須市の生涯学習に関する団体ヒアリング及び児童生徒向けアンケート調査調査結果」
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
出席委員	大村会長、丹羽副会長、和田委員、佐藤委員、野呂委員、富田委員、梶浦委員、吉田委員、小出委員
欠席委員	河合委員
事務局	天埜教育長、石黒教育部長 （生涯学習課）

	大沼課長、藤田課長補佐、鈴木生涯学習係長、葛西 文化振興係長、武田主事 (スポーツ課) 高山スポーツ課長、吉山主事 株式会社創建 研究員(計画策定支援業務受託業者)
--	---

会議の経過

あいさつ

天竺教育長よりあいさつ

大村会長よりあいさつ

議題《意見の要旨》

(1) 清須市生涯学習推進計画（第二期）の方向性について

大村会長 それでは議題（1）「清須市生涯学習推進計画（第2期）市民アンケート等の結果について」事務局から説明をお願いします。

事務局 資料1に基づき説明

大村会長 今の説明についてご意見、ご質問をいただきたいと思います。

大村会長 庁内ヒアリングの資料はありませんか。

事務局 次回の会議でお示しする予定です。

大村会長 回答者が分からないことと、生涯学習に関連する取り組みがなく、今後も実施する予定のない部署が24件あることが気になります。どの部署からそのような回答があったのか分かる資料をお願いしたいです。

インターネット回答の28%の母数はいくつですか。

事務局 有効回収率の706件のうち、198件がインターネット回答であった。

大村会長 ネットと紙回収を併せて回収率は35.3%であった。回答率という表現はあまりよくないかもしれません。紙ではなくてネットを選んだという意味で、回答率という言葉を選んだのでしょうか。公表するときにはお検討ください。

事務局 回答率と回収率が混在していることについては、計画に載せる際には検討したいと思う。

梶浦委員 回収率は前回と比較すると若干減っている。インターネットを使っているが、回収率が減っていることの分析結果はありますか。また、年代別でネット回答がどのくらいあるか分析していますか。

事務局 資料1では、アンケート結果を抜粋して掲載している。年代別の回答については口頭で説明します。（年代別の回答について説明）また、前はインターネット回答をしていないため、その比較は難しいです。

梶浦委員 インターネットを使っても減るのか。インターネットを使うと回答が増えることを期待していたと思うが、結果的に減ったという

	ことで、考察はしていますか。
大村会長 事務局	0.8%の差であるため、あまり有意の差ではない気がします。 インターネットを利用しても回答率が下がってしまったことに関する明確な理由は把握していません。
梶浦委員	前回のやり方でも回答が足りず、今回はネット回答を取り入れたが結果的には増えなかった。やり方が足りなかった。回答率は満足できる数字なのか。
(株) 創建	回収率については、他の自治体で行われている生涯学習、スポーツ、男女共同参画の分野の調査ではおおむね30~35%ほどです。有効回収数の706件についても、清須市の人口にあてはめた場合、統計的には問題のない数が回収できていると判断しています。
大村会長	清須市が行っている他の調査との比較や、ネットの回答者が世代によって偏りがあるのかについても、今後教えていただきたいと思う。
小出委員	男女別や、年代別の集計はしているのか。基本方針の中では、男女別や年代別などの傾向も必要なものがあると思います。
(株) 創建	性別、年齢別集計については現在集計段階であるため、資料の結果概要では単純集計の結果を掲載しています。 計画書では、性別や年齢別について必要な分析を行っていきます。
小出委員	基本方針3については、半数以上が歴史・文化に関心があるという評価ができます。 小中学生向けのアンケート調査は、小中学生、男女別で傾向をつかむことはできますか。
事務局	今回の小中学生の調査では、学年を答える設問はありません。男女別分析ができるかは今後検討します。
大村会長	学年を答える設問がないことにより、明らかに結果に違いが出ることを混ぜてしまうと、評価が難しくなると思いました。中学2年生は高校受験が気になる時期であるとか、地域活動では小学生の加入が多いだらうとか、違う傾向が出るのではないかと思ったため、残念です。ただ、子どもにも調査したという点はありがたく思っています。
事務局	次回の検討課題にします。
和田委員	アンケート調査には通常、年齢や性別や居住地が入っていると思うが、次回からは加えてもらえますか。
事務局	市民向けアンケート調査は全体で21問あります。今回の会議では

結果のすべてを説明することは難しいため、絞った形で結果概要には掲載しています。アンケートの中には年齢や性別、居住地域などの回答者の属性を問う設問を設けています。

次回の会議ではアンケートの数字的な報告や分析を示したいと思っています。

和田委員 アンケートの対象者は市役所で把握しているが、回答から個人を特定できるのかと、アンケートを出すことにより回答者にメリットがあるのか教えてください。

事務局 アンケートの対象者は把握しているが、調査票には個人情報を書かないことになっているため、個人を把握することはできません。また、回答は、ご協力という形でお願いしている。

大村会長 居住地域は中学校区単位では分かるということで、中学校区単位でニーズが異なることも結果で分かるかもしれないですね。

梶浦委員 結果概要で、考察的な文章があるものとないものが混在している。問21「市では特にどのようなことに力を入れるべきか」について、「サービスの充実」「地域人材の育成」、「キャリア教育の充実」の回答が多いことから、サービスや地域人材、キャリア教育が足りていないことが考察として書けるのではないかと思います。

大村会長 考察は注意深く行う必要があります。ご指摘の点について、「サービスの充実」では、現在充実していることを評価して選ばれている可能性があるため、足りないと感じているかどうかは、この設問だけでは分かりません。

梶浦委員 サービスとして存在しているが、一般的には知られていないことがうかがえるという考察でもいいと思う。

大村会長 事業が足りないから選ばれているのか、事業を評価して選ばれているのかという因果関係はこの設問だけでは分からないと思います。

基本目標1 生活の満足度でのクロス集計について、事務局説明で「学習が生活満足度を上げている」と解釈を示していたが、必ずしもそうとは言えない可能性があります。相関があるとは言えますが、因果関係までは言えないと思います。

生活満足度とのクロスは面白いと思います。学習の分野によって満足度が異なる可能性があるため、どんな学習をしている人が満足度が高いのか、集計を試みていただきたいです。

また、地域活動に参加しているかどうかの関連も見ていただきたい

いです。

梶浦委員

市役所内のアンケートを行った動機を聞かせてください。市役所アンケートはどのように活用するつもりですか。

大沼課長

現行計画では関連部署が生涯学習に関連した事業を展開しているところですが、福祉や防災などの様々な部署でも「学び」という切り口で事業を行っている認識が自分にはあったため、庁内で意識を持ってもらえるきっかけにしたいと思い、実施しました。生涯学習課職員で生涯学習の推進に努めているが、不足している部分があることを反省して、今回活用できるのではないかと思います。

大村会長

部署に対して実施したということで、回答者の年代や性別は出ていないということですか。

大沼課長

各課単位であり、回答者の属性は問うていません。回答に関わる職員は少ないかもしれないが、少しでも意識づけができればいいと思っています。

梶浦委員

3つの部署が「知らない」というのは誤解を生みそうなので、回答者がたまたま知らなかっただけなのか、縦割りによることが原因なのか、生涯学習はほかの課と連携をしているのですか。

大沼課長

関係各課との情報共有は努めているが、まだ足りていない実感はある。

梶浦委員

会場である「にしびさわやかプラザ」の2階はスポーツ施設であるが、生涯学習が管理している建物であると思う。どんな団体が利用しているか把握していますか。

大沼課長

主にスポーツ関係の団体や、レクリエーション活動をしている方、場所を分け合って使っている方など、ざっくりした情報は把握している。

梶浦委員

スポーツ課で、学校開放を含めてスポーツ施設の予約はネットを使うように進めているが、ここは入っていません。なぜかと聞くと、ここは生涯学習施設だからと言われます。実状にあった連携をしていただきたいです。

吉田委員

アンケートの無回答や、その他を答えた方にコメントをいただくことはできますか。

大村会長

設問に自由記述があるため、それを見ることはできると思うが、個人の特定はできないため、今から聞くことはできないと思います。

事務局 無記名のアンケートであるため、今から問うことは難しいと思います。

大村会長 庁内調査は積極的な取組であると聞きました。特にコミュニティスクールが昨年度、小中学校全校で実施されたと聞いています。市の市長部局の部署が小中学生とつながっていくことは、小中学生の学習にとっても意味があることだと思います。

(2) 清須市生涯学習推進計画（案）の骨子について

大村会長 それでは議題（2）「清須市生涯学習推進計画（案）の骨子について」事務局から説明をお願いします。

事務局 資料2に基づき説明

大村会長 今の説明についてご意見、ご質問をいただきたいと思います。

梶浦委員 アンケートの分析が追いついておらず、取り組みや今後の課題の記載が白紙の状態、「大きな変更はできない」と言われたが、どういうことですか。

大村会長 計画策定の手順についてご意見いただきました。アンケート結果を示してからでないと思いが集約できないということでしょうか。

事務局 変更が難しいというのは、構成面での話です。

大村会長 アンケート結果の全体像が示されるのはいつでしょうか。

事務局 次回の会議の前に、素案とともにアンケート報告書を送りたいと思います。

梶浦委員 計画の期間について、今回は10年計画ということですが、短くならないのでしょうか。

大沼課長 生涯学習推進計画は、清須市の総合計画と計画期間を同じくして進めたいと思っています。さまざまな社会情勢の変化に対応する必要があると思いますので、4、5年で中間見直しを行うことを考え、ロングスパンで生涯学習計画を計っていきたいと思います。

梶浦委員 対策として、その都度できることは対策を考えていくということでしょうか。

大沼課長 計画期間は10年であるが、関係部署が毎年度事業計画を立てる中で、対応はできると認識しています。

大村会長 13ページ以降は現行計画の評価だが、まだ記載されていない。特に15ページからの、それぞれの基本目標がどこまで進んでいて、何が課題なのかをお示しいただいたうえで考えたいです。また、

目標指標についても、達成具合が白紙のため、具体的な議論を進めるには早いと思います。今後の進め方について考えていただきたいです。

また、「基本目標」という言葉が、現行計画の言葉と、次期計画の言葉と同じ表現であるため、混乱する可能性があると思うため、まとめ方について検討いただきたいです。

事務局 「基本目標」の言葉については、今後整理していきたいと思います。

梶浦委員 18～19ページですが、一部分で◎や△があるが、空欄のところは評価されていないという認識で良いか。

事務局 今後数字について記載していくことを想定している。

梶浦委員 評価は、現状数値が分かっているところに入っているということではないか。例えば、「新川地域文化広場（カルチバ新川）、清須勤労福祉会館（アルコ清洲）、春日B&G体育館の利用者数」については目標数値43万人に対して減っているから△なのではないか。

大沼課長 令和5年度の現状値として到達できなかったということで、△と評価をしています。

梶浦委員 今後は、目標値がよかったのかどうかと、目標値を達成するためにどのような対策を行ってきたかについて見直しをするということでしょうか。結果から見える対策についても考えていくのでしょうか。

大沼課長 総合計画の行政評価と連動させる形で検討・改善につなげていきたいと思います。

大村会長 委員の皆様からご発言をいただきたいと思います。

丹羽委員 回収率は多少少ないと思うが、「問16 学習で身に付けたことを自分以外のために生かしたいと思うか」について生かしたい人が57.4%いることに、やる気がある方が多いと感じました。このあたりが前期計画の施策内容や評価につながるように策定していただけたらいいと思いました。

和田委員 評価のところ、実績値や現状値、目標値とあるが、10年計画の場合は、冊子に直接印字するのですか。記載の方法をうまくやっていただきたいです。

富田委員 アンケート調査は3人に1人しか返事がないものですか。文化協会の会員数について、令和元年1370人、目標値1370人となっている

が、令和5年では1000人程度となっている。これを元の状態に戻すことは難しいと考えています。よい案があれば教えていただきたいです。

佐藤委員

「問16 学習で身に付けたことを自分以外のために生かしたいと思うか」について生かしたい人が57.4%いることは、当然の数字であると私は思っています。

この結果をどのように生かしていくかを今後教えていただきたいと思えます。

大村会長

現在は白紙ですが、具体的施策の部分ですね。

梶浦委員

調査会社が入っているため、間違いないものできていると思うが、スピード感が足りないのではないかと思う。早くやらないと時代が変わってしまうので、本当にこの計画でいいのか考えていただきたいです。

24ページについて、スポーツ活動の活性化を「まなぶ」に入れているが、「うけつぐ」に入っている芸術文化活動も「まなぶ」に入っているのではないかと思うので、切り分けについてもご検討いただきたい。

吉田委員

子どもたちもさまざま参加したり学んだりしているが、それが生涯学習につながっているかは頭にはないと思えます。今回小学5年生と中学2年生にアンケートを実施したことで、生涯学習について理解できるきっかけとなったことはよいと思えました。

野呂委員

スポーツ推進委員をしているが、小中学生の学べる場を充実してほしいと思えます。

小出委員

平成30年に策定をした計画の推進の成果について分析して文章化して、21ページに書いてあることが前の策定とどれだけ文章が変わっているか示していただきたいです。どこが変わっているかははっきり明示していただきたいです。

22ページから、4つのひらがながあるが、これらはそれぞれの基本目標を貫く柱としてあっても良いのではないかと思う。

22ページの基本理念は、前の策定からどのように文章が変わっているのか、文章がきちんと結びついていないと思う。昭和60年代から平成元年にかけて、愛知県を中心として生涯学習の推進が叫ばれて久しいため、そういうことを踏まえた表現が良いと思えます。清須市は豊かな人材と豊かな地域文化遺産があるため、それらを明記して進めて欲しいです。

	<p>これらを踏まえて基本理念と基本目標については検討してほしいと思います。</p> <p>大村会長 アンケート調査の基本目標2について「問16 学習で身に付けたことを自分以外のために生かしたいと思うか」について「わからない」が24.4%いることにも注目をしてほしいです。どう生かしていけばいいのか、どう参加していいのかについて、丁寧に支援していく必要があると思います。求める支援としては、「生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実」となっていますが、必ずしも施設の中だけで事業が行われるのではなく、地域の人たちに施設の方が足を運んでつながっていくこともお考えいただきたいと思いました。ニーズがあることははっきり出てきていますので、それをどう生かし、支援していくかという政策をお考えいただきたいです。</p> <p>大村会長 大きく骨子を変更してほしいという意見はなかったということで、今の骨子をもとに進めていくということによろしいでしょうか。</p> <p>委員 (意見なし)</p> <p>(3) その他</p> <p>大村会長 それでは議題(3)「その他」事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局 次回会議日程を連絡</p> <p>閉会</p>
会 議 の 結 果	審議に関する事項はなし
問 い 合 わ せ 先	教育部生涯学習課 052-400-2911 (清須市役所南館1階)